

令和 8 年度 こども家庭庁母子保健指導者養成研修
研修 5 周産期・子育て支援における多様な課題への対応
(支援)に関する研修
実施要領

1. 研修の目的

出産・子育てをめぐる環境は変化しており、妊産婦やこども及びその家族が抱える課題は多様化・複雑化しており、母子保健担当者は、最新の知識や知見を踏まえ、それぞれの状況に応じた適切な支援につなげていくことが求められています。

本研修では、出生前検査や乳幼児によくみられるアレルギーに関する基本的な知識や情報提供における自治体保健師の役割に関するスキル理解いただくほか、「はじめての 100 か月の育ちビジョン」など母子保健施策のみならず幅広い子育て支援施策の知見を提供します。また、父親支援、早産・低出生体重児とその家族、災害時における妊産婦・乳幼児、外国人住民など、幅広い対象者に対する支援の在り方について、最新の知見や自治体の実践事例を交えて学ぶことにより、様々な状況にある妊産婦やこども及びその家族を適切な支援につなげることのできる人材の育成を目的としております。

2. 主催者

こども家庭庁（実施団体：株式会社野村総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市町村の母子保健担当者
- ・助産所、病院及び診療所に勤務する助産師等
- ・児童福祉施設の職員

※対象外の場合は、お申込みいただいてもお受けできませんので、ご了承ください。

4. 実施形態

オンライン（オンデマンド配信）形式

※事前にお申込みいただいた方に対して、動画専用サイトの閲覧パスワードを配布します。

5. 申込期間及び配信期間

- ・申込期間 ：令和 8 年 9 月 18 日（金）～令和 8 年 11 月 18 日（水）
- ・オンデマンド配信期間：令和 8 年 12 月 9 日（水）～令和 9 年 2 月 9 日（火）

6. 研修プログラム

	研修プログラム（※仮題）	講師
①	行政説明 母子保健行政の動向（研修 1～5 共通）	こども家庭庁 成育局 母子保健課
②	講義 1 出生前検査の基礎知識と保健師の役割	昭和大学医学部 産婦人科学講座 関沢 明彦 氏 信州大学医学部 保健学科 看護学専攻 中込 さと子 氏
③	講義 2 はじめの 100 か月の育ちビジョン	こども家庭庁 成育局 成育基盤企画課 宮城県富谷市保健福祉部子育て支援課 とみや子育て支援センター 高橋 弘美 氏
④	講義 3 父親支援	国立成育医療研究センター 竹原 健二 氏 札幌市子ども未来局 子育て支援部 子育て支援推進担当課 子育て支援推進担当係 大聖 智子 氏
⑤	講義 4 早産・低出生体重児とその家族への支援	東京都立小児総合医療センター 岡崎 薫 氏
⑥	講義 5 アレルギー疾患の基礎知識	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター アレルギーセンター 福家 辰樹 氏
⑦	講義 6 災害時の妊産婦・乳幼児の支援	厚生労働省 国立保健医療科学院 奥田 博子 氏
⑧	講義 7 外国人住民の出産と乳幼児期の育児支援について	東洋大学 福祉社会デザイン学部 子ども支援学科 内田 千春 氏